

【「読む」と「書く」との活用問題 解答】

一 (1) 4

(2) おどる人と一体となって、じかにおどりを楽しむことができる。)

※書き方が「演舞場のよさ」と同じような書き方（文末は「できる」と）であれば可。

1

二
二

(1)
ア 250
イ 午前 11 時
※「午前」や「時」を使
い正しく時刻が書けて
いること。

(2)
例 集合時こくにおくれな
いように来てください。

例 おどり体験を楽しみ
ましょう。

※前の文をうけ、おどり
体験をするために、一
緒に いく友達に対し
ての言葉として、一文で
ていれば可。

2

一 一人が一日に使う水の量
二 歯みがきをするときは水を出しつばなしにしないことや、おふろの残り湯はせんたくに利用して水をせつやくする」とあ
る。

※「水の使用量を増やさないために気をつけていい」とについて、ポスターのアからエの中から一つ選び、四十字以上六十字以内に
まとめて書いていよいよ。

3

一 2
二 例 (その活動とは) 中國からトキを借りてトキを増やす活動と、トキが住みやすいかん境を作るための活動でした。
※同意可。「二つの活動」が書けている。三十五字以上五十字以内で書いている。

4

一 4
二 例 (ゆずの果汁とレモンの果汁を比べると) ゆずの方がレモンより、カルシウムが多く含まれている。※同意可。
三 例 (その理由は) ゆずの皮にふくまれている油分で血液の流れがよくなり、体が温まるからです。また、かおりが広がり、
いい気分になるからです。(59字)

※同意可。四十字以上、六十字以内で書いている。

5

一 A 4 B 1

ニア 國際交流 イ(リハビリなどの) 医りようの方法の一 ウ 最先たん技術

※ひらがなでも可。ア「日本の伝統を伝える国際交流」でも可。イ「リハビリ」または「医りようの方法」だけでも可

三 例 長い歴史をもち、たくさん的人に愛されているだけでなく、さまざまな可能性をもつ折り紙は、日本のすばらしい伝統文
化だと思う。(60字)

※同意可。四十字以上、六十字以内で書いている。

6

一 3
二 2・4 ○両方合っていると。順不同。

三 例 (草食動物の) すいみん時間は短く、食べながらねむつたり、立つたままねむつたりしている。(36字)

※同意可。二つの記事を使って書いていよいよ。「…たり、…たり」という言葉を使って一文で書いていよいよ。三十字以上四十字
以内で書いていよいよ。

7

一 2
二 2・3
三 ア 例 (西川さんは) 心のすれちがいをえがいたほかの物語を「読む」とによつて、(西川さんは) あまんきみ作「おにたのぼうし」と重ねて「読む」とによつて

イ 例 (「この) いじめや悲しさをより強く感じる (ことができたのだと思います。)

※西川さんの読み方や感じ方を、【西川さんが作った読書新聞】の言葉を使って書いていること。前後の言葉につながるように書いていくこと。

8
二 1 - 3

三 例わたしの文章のよさは、今年がんばりたい」とを伝えるために、南さんの話やし育委員会での活動で反省したことを書いたり、ほ
健委員会で進みたい新たな活動を、最後のだん落で具体的に書いたらしくなることだ。(98字)

※林さんの文章のよさ、【伝え合いの文章の一部】で伝え合つたことを基に書いていること。前後の言葉につながるように書いてい
ること。

9
二 4 - 2

三 例(クラスのみんなは、いろいろな読書の楽しさを知っているのだと思いました。わたしも)先が読めずドキドキする楽しさを味
わいたいです。これからは、物語の展開を自分で想像しながら、本を読み進めていきたいと考えました。

例(クラスのみんなは、いろいろな読書の楽しさを知っているのだと思いました。わたしも)昔の人のすばらしい考え方や生き方を
知る楽しさを味わいたいです。本を読むことによって、新しい考え方を学びたいと考えました。

※【中川さんのアドバイス】を参考にして書いていること。「からの読書で、どのような楽しさを味わいたいかを書いている」
こと。前の言葉につながるように書いていること。